



しぐさや行動でわかる？ 猫の気持ちを読み解く方法を徹底解説

「猫の気持ちを知りたい」と考えている飼い主の方々はとても多いのではないのでしょうか。今回は、しぐさや行動でわかる、猫の気持ちを読み解く方法を解説していきます。



猫は体のしぐさや行動で気持ちを表現する

猫は、犬と違い、協調性を図るための社交的なボディランゲージはあまり多く持ち合わせていませんが、尻尾などの体の部位や、しぐさや立ち振る舞い、行動の種類などで気持ちを読み取ることができます。

猫が気持ちを表現する際に使う体の部位とは？

・尻尾

猫は尻尾で多くの感情を表現しています。尻尾を立てる、下げる、くねらせる、速く動かす、など、一つ一つに意味があるのです。

・耳

猫は耳で多くの情報を得ているため、何かに注目している場合は、前向きに耳を向ける傾向があります。一方、攻撃的な気持ちの時は耳を守るために後ろ向きに倒す傾向が見られます。

・目

猫がリラックスしている時、目は穏やかな印象となり、焦点もあまり定まらないような状態となります。一方、気になるものがある場合や、攻撃的な気持ちの時は、じっと一点を見つめて、目を見開きます。猫に見つめられた際には、見つめ返すのではなく、目を細めたり、瞬きを多くしたりすると、安心してくれるケースが多いので試してみましょう。

・ヒゲ

猫は機嫌が良いと、ヒゲの角度が10時10分の方角を指すと言われていています。一方、何かに注目していたり、攻撃的な気持ちになっていたりする時は、前向きにヒゲを向ける傾向があります。防御する姿勢に入っていたり、怖がっていたりする時はヒゲを後ろに向けます。情報を収集している時はヒゲを上下に動かします。

・全身

猫がリラックスしている気持ちの時は、全身はしなやかで柔らかい印象となります。一方、怒りを感じている時や、恐れを抱いている時は全身の毛を逆立て、体を大きく見せる傾向があります。あまりにも恐怖が強い場合は、伏せた体勢でうずくまって動かなくなるケースも見られます。

尻尾の動きでわかる猫の気持ち

・尻尾を立てている

猫が尻尾を立てている時は、とても機嫌が良い気持ちであることを意味しています。

・尻尾をくねらせている

猫が尻尾をくねくねとさせている時は、楽しい気持ち、ワクワクしている気持ちの時です。

・尻尾が大きく膨らんでいる

猫が尻尾を大きく膨らませている時は、威嚇していることを意味しています。びっくりした時、何かを恐れている時も、このような尻尾の動きが見られます。

・尻尾を下げている

猫が尻尾を下げている時は、元気がない、叱られてしょげている、などの意味があります。

・尻尾を巻きつけている

猫が座った体勢で尻尾を体にくると巻きつけている時は、リラックスした気持ちであることを意味しています。

・尻尾を大きく振っている

猫が尻尾を大きくバタバタと動かしている時は、イライラしている気持ちになっていることが多いようです。一方、ゆっくりと大きく尻尾を振っている時はリラックス状態を意味しています。

・尻尾を小さく速く動かしている

猫が尻尾を小さく、速く動かしている場合は、考え事をして意識を集中している時が多いようです。

・尻尾を足の間に巻き込んでいる

猫が尻尾を足の間に巻き込んでいる時は、何かを恐れている気持ちであることを意味しています。

しぐさや行動の違いでわかる猫の気持ち

・毛繕いをしている

猫が毛繕いをしている時は、毛並みのメンテナンスをしているだけでなく、自分の匂いをつけることで落ち着きたい、安心したい気持ちの時も多いようです。

・手や足などを舐めてくる

猫が手や足などを舐めてくる時は、グルーミングをしようと、愛情表現をする気持ちがあることが考えられます。信頼のしるしであると受け止めましょう。

・飼い主の邪魔をする

猫が手や足などを舐めてくる時は、グルーミングをしようと、愛情表現をする気持ちがあることが考えられます。信頼のしるしであると受け止めましょう。

・爪研ぎをしている

猫の爪研ぎは、古い爪を剥がすメンテナンスの意味合いと共に、肉球付近から出る自分の匂いをつけて、縄張りをアピールしている場合もあります。

・すり寄ってくる

猫がすり寄ってくるのは「こすりつけ行動」と呼ばれるもので、愛情表現と同時に、マーキングの一種であるとされています。飼い主についた他の匂いを、自分の匂いで上書きしようとする意味合いがあるようです。

・姿勢を低くして飼い主から離れている

猫が姿勢を低くしている時は、気付かれずに静かにしていいたいという気持ちがあるようです。このような場合は、無理に構わずにそっとしておくといいでしょう。

鳴き声の違いでわかる猫の気持ち

・ゴロゴロと喉をならしながら鳴く

猫がゴロゴロと喉をならしながら鳴く場合は、リラックスして、飼い主に甘えていることを意味しています。

・ニャオ、ニャーなどと鳴く

猫が飼い主に向かって、ニャオ、ニャーなどと鳴く場合は、何かを要求していたり、挨拶をしていたり、何らかのアクションを起こす前ぶれだったりすることが多いです。

・ウー、ワウワウ、シャーなどと鳴く

低いトーンで、ウー、ワウワウと唸ったり、シャーと牙をむき出してきたりする場合は、機嫌が悪いことを意味しています。

猫が普段と違う鳴き方をしていたり、体調が悪そうだったりする場合には早めに動物病院で診断を受けましょう

今回は、しぐさや行動でわかる、猫の気持ちを読み解く方法を解説してまいりました。猫は犬に比べると感情表現が地味な動物ですが、ここまで紹介してきた通り、非常に多くのボディランゲージを持っていることがお分かりいただけたかと思います。

もしも、猫が体調を悪そうにしている場合には、なるべく早い段階で動物病院に連れて行きましょう。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →



MSD

Animal Health

JP-BRV-210500006